

令和 2 年 度（2020年度）

事業報告書

自 令和 2年（2020年） 4月 1日
至 令和 3年（2021年） 3月 31日

公益財団法人 関西交通経済研究センター

目 次

I. 概 況	1
II. 事業報告	
1. 交通経済に関する調査研究	2
受託調査研究事業	2
2. 交通経済に関する講演会等の開催	9
3. 懸賞論文(提案・提言)の募集事業	10
4. 文献その他出版物の刊行	11
5. その他	11
III. 庶務事項	
1. 会 議 等	
A. 理 事 会	13
B. 評 議 員 会	13
C. 役員名簿等	14
2. 賛 助 会 員	14
3. 事 務 局	14

I. 概況

令和2年（2020年）度は、世界中で新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という）の世界的流行（パンデミック）による未曾有の経済停滞にさらされ、多くの国々では感染拡大防止のために経済活動の人為的な抑制を余儀なくされ、急激かつ大幅な景気後退となった。

我が国においても、感染症の拡大に伴い、まずは訪日外国人旅行者（インバウンド）需要の減少から消失、続いて中国の生産活動停滞によるサプライチェーンを通じた供給抑制による生産の滞りに見舞われた。さらに、2回発出された緊急事態宣言による感染拡大防止のために国内の経済社会活動の抑制を余儀なくされ、我が国経済に甚大な影響をもたらした。

特に、近年の関西経済の成長はインバウンド需要がけん引していたといっても過言ではないため、関西圏は他の地域に比べてその影響は大きかった。

しかしながら、今後、関西圏においては、JR大阪駅の周辺再開発地区である「うめきた2期地区」では、国内最大級の一大プロジェクトとして、世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」と、新たな国際競争力を獲得し世界をリードする「イノベーション」を生み出す都市機能との融合拠点の形成をめざし、JR東海道線支線地下化事業、新駅設置事業、土地区画整理事業や都市公園事業等が進められており、2024年夏のまち開きが予定されている。

鉄道ネットワークの整備については、リニア中央新幹線・北陸新幹線が乗り入れる新大阪駅ターミナルと関西国際空港とのアクセスの向上、鉄道ネットワークの強化や大阪の南北都市軸の強化を図る「なにわ筋線」が、2031年春の開業を目指し工事が進められている。他に、北大阪急行電鉄の延伸（2023年度開業予定）や大阪モノレールの延伸（2029年開業予定）等が整備されている。

また、2025年の大阪・関西万博が関西経済をより力強くすることを期待されている。

このような状況の中で、当センターは関西圏における交通運輸、観光事業の発展と経済社会の発展に資するよう、関係機関のご指導の下に賛助会員並びに業界団体等の皆様からのご支援をいただき次のとおり、各種の事業を積極的に推進してきたところである。

今年度の交通経済に関する調査研究事業については、関係業界団体等からの受託調査研究事業等を実施した。その中には、当センターの組織であるTSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進に係る受託も含まれている。

交通経済に関する講演会等の開催については、災害対策シンポジウムの開催のほか、サロンセミナー、かんこうけんコロキウム等を実施した。

また、次世代を担う方々の叡智を通じて当センターの調査研究における新たな切り口を発掘する懸賞論文募集事業については、過去最高の21編の応募があり、優秀賞2編、奨励賞3編を選定し表彰した。

このほか、文献その他出版物の刊行として、関西交通経済ポケットブック2020年版及び機関誌「関交研」2020年春季号・秋季号を刊行した。

II. 事業報告

1. 交通経済に関する調査研究

受託調査研究事業等・・・9件

《概要》

(1) TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進

【事業内容】

運輸の安全確保を最重要課題として発足した「運輸安全マネジメント制度」の施行から14年が経過し、大手・中堅事業者については取り組みが定着し一定の成果を挙げているが、未だ取り組みの途上にある中小規模事業者については相当数の事業者が努力義務に留まっていることや、貸切バス事業者に対する安全確保の社会的要請、近年の社会環境の変化等により新たなリスクが顕在化してきていることから、普及・啓発をより推進していく必要がある。

自動車運送事業の輸送の安全確保は、運輸安全マネジメントシステムと法令遵守の両輪で進めていくことが重要であり、中小規模事業者へ運輸安全マネジメントの導入、安全意識の醸成、徹底等改革が急務である。

このような状況を踏まえ、国土交通省においては平成29年（2017年）7月に「運輸事業における安全管理の進め方に関するガイドライン」の改定を行ったところである。TSD（運輸安全マネジメント支援センター）においても「運輸安全マネジメント普及・啓発推進協議会」と協調し、改正ガイドラインに沿った教材を積極的に活用し、中小規模事業者の安全意識の醸成に努めた。

さらに、事業用自動車の輸送の安全確保を目的に社会的規制の強化が図られており、TSDでは、中小規模事業者を対象として出前講座の強化や運行管理体制の更なる向上に資するため運行管理者試験対策を積極的に進めた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、講習会やセミナー等については参加者数の抑制を含む3密回避など感染防止対策を徹底したうえで開催した。

【成果】

① 事故防止等安全対策マニュアルの普及

出前講座・セミナー等で活用するとともに、近畿管内のバス・タクシー・トラックの各団体に対し普及に努めた。

② 運輸安全マネジメント出前講座及び講習会（講師派遣）の開催

・開催回数：1回 《延べ参加者 31名》

③ 運輸安全マネジメント認定セミナーの開催

・開催回数：12回 《延べ参加者 310名》

・中小向けガイドライン：7回 226名

・内部監査（基礎）：3回 63名

・リスク管理（基礎）：2回 21名

④ 運行管理者試験対策講習会の開催

・開催回数：35回 《延べ参加者 922名》

- ⑤ トラック初任運転者の特別指導講習会の開催
 - ・開催回数：4回 《延べ参加者 139名》

(2) 公共交通機関のコロナ感染防止対策セミナー

【事業内容】

公共交通は地域の生活や経済活動に必要な役割を担っているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で関西の公共交通機関の利用者が減少していることから、学識者の講演及び各モードの交通事業者が取り組んでいる感染拡大防止対策の紹介等を通じて感染等への不安を払拭し、環境にも優れた公共交通機関は安心して利用できるということを発信することを目的に開催した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場については定員の半分程度の参加定員とするとともに、ライブ配信及び録画配信を行った。

また、交通事業者が新型コロナウイルス感染対策を徹底して行っており、利用者が安心して乗車(乗船)できることを周知・啓発を行うポスターを作成した。

【成 果】

1. セミナーの開催

- ・開催日：令和2年10月30日(金)
- ・場 所：大阪府立男女共同参画・青少年センター(ホール)
- ・内 容
 - <第一部 基調講演>
 - ・講師：宮沢孝幸氏(京都大学ウイルス・再生医療科学研究所 准教授)
 - ・演題：新型コロナウイルス感染防止対策と社会・経済活動の両立について

<第二部 取組発表>

- ・バス事業者：近鉄バス株式会社
- ・タクシー事業者：都タクシー株式会社
- ・鉄道事業者：大阪市高速電気軌道株式会社
- ・旅客船事業者：株式会社フェリーさんふらわあ
 - ※発表内容：車両等の感染防止、従業員の感染防止・指導、乗客の感染防止、工夫した点、苦労した点、成功事例等

<質疑応答>

- ・公共交通事業者、基調講演者、会場参加者との質疑応答
- ・会場参加者：190名
- ・オンライン配信(近畿運輸局公式YouTubeチャンネル)

①ライブ配信

- ・視聴者数：250名

②録画配信

- ・配信期間：令和2年12月1日～※約1年程度
- ・視聴回数：約8900回(R3.4.20現在)

・報道

テレビ(テレビ大阪)、一般紙(日経新聞、毎日新聞他)



(近畿運輸局 YouTube チャンネル)

2. 広報ツールの作成

公共交通事業者が新型コロナウイルス対策を徹底して行い、利用者が安心して乗車、乗船いただけることを周知、啓発するチラシ(A4版 15,500枚)、ポスター(B1版 1,540枚)を作成し、関係業界団体及び事業者に納品した。



(3) 交通事業者向けバリアフリー教育訓練（交通サポートマネージャー研修）

【事業内容】

交通事業者（鉄道、バス等）を対象に、高齢者・障害者等、移動制約者の安全で円滑な公共交通機関の利用を実現し理解を深めることを目的に、交通事業者向けに接遇・介助の知識と技術を伝えるための研修会（教育訓練）を実施した。

（訓練のポイント）

- ・声のかけ方、接遇・介助の方法、配慮する点等について、座学と実技、ディスカッションを通じて総合的に学ぶことができる。
- ・少人数のグループごとに障害当事者や専門家が加わるディスカッションを行い、参加者からの質問にもその場で回答できる。
- ・バスや鉄道の車両、駅施設等を用いた実技と専門家、障害当事者講師からの具体例を交えた講義により、実態に近い研修内容である。



（グループディスカッション）



（車椅子の乗降体験）

【成果】

研修会を2回開催し、9事業者（鉄道、バス等）から47名が受講し全員修了した。

- ・第1回 開催日：令和2年7月2日(木)～3日(金)
場 所：京都市交通局会議室
参加者：30名（地下鉄30名：京都市交通局研修）
- ・第2回 開催日：令和2年10月8日(木)～9日(金)
場 所：大阪国際交流センター
参加者：17名（鉄道8名、バス9名：関西合同研修）

※当初は6回計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4回（関西合同研修1回、京都市交通局2回、神戸市交通局1回）を中止した。

(4) 兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等

【事業内容】

一般社団法人兵庫県トラック協会は、兵庫県一円の貨物自動車運送事業並びに、貨物利用運送事業の社会的、経済的地位の向上と、会員相互の連絡協調を緊密にすることを目的に活動しているところであり、また、事業の役割と重要性について一般市民の理解促進を図ることについても重要な使命としているところである。

今年度は、全会員に対して環境と安全に配慮した運転を行うための「エコドライブチェック調査」の実施及び分析を行った。また、トラック業界の喫緊の課題である「働き方改革」の会員への周知、

一般市民を含めた「環境と物流を考えるフォーラム」の開催、そして、近年多発している大規模災害時の行動の目安となる「トラックドライバーのための減災BOOK（電子版）」の作成等を実施した。

【成 果】

1. エコドライブチェック調査の実施

- ・実施期間：令和2年11月1日から30日（※エコドライブ推進月間）
- ・回 答 数：事業者 174社、ドライバー 2,477名

2. 会員向け広報誌「図表で見る トラック業界の価値を高める羅針盤」の作成

- ・作成部数：3,500部（A4版、18ページ）
- ・内 容：トラック業界の働き方改革、標準的な運賃の告示、協会の動き等
- ・配 付 先：兵庫県トラック協会の全会員

3. 「環境と物流を考えるフォーラム」の開催

- ・開催日：令和2年11月26日（木）
- ・場 所：兵庫県トラック総合会館
- ・講 演：「SDGs（持続可能な開発目標）に取り組んでいますか？」
（講師）板垣 大介 氏（中小企業診断士）
「コロナと物流～中小トラック事業者のための新型コロナウイルス感染症対策と危機管理～」
（講師）森 隆行 氏（流通科学大学商学部 教授）
- ・その他：森講師と事業者（協会環境対策委員会委員長 堀 秀夫 氏）との対談
- ・参加者：49名



※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場の参加者数を定員の半分程度としたため、本セミナーの録画映像を協会ホームページ（会員専用ページ）で公開した。

4. 「トラックドライバーのための減災BOOK（電子版）」の作成

- ・内 容：地震、津波、台風等の災害発生時におけるドライバーの対処法を掲載した冊子について、スマートフォンやタブレット等でも確認できるよう電子書籍（ブック）化した。また、電子版の特徴を活かして、スマートフォン等の画面をタップするとWebサイトや電話につながる「緊急時便利帳（50箇所）」を新たに掲載した。



(5) 手話教室

【事業内容】

交通事業従事者の手話技能の習得による接遇向上と聴覚に障害のある方への理解促進を図るための「手話教室」を24回開催し、聴覚障害者への理解と接遇の向上による移動円滑化の推進を図った。

【成 果】

鉄道、バス等の6事業者から10名が受講、修了した。



(受講風景)

(6) バリアフリー推進勉強会

【事業内容】

交通バリアフリーを推進するうえでの課題等について、ハード・ソフト両面の個別テーマ毎に最新の動向を踏まえ、関係者等との意見交換や情報交換を目的として、関西地区のバリアフリー推進勉強会を開催した。

なお、今年度の2回の勉強会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン配信（録画）として開催した。（配信方法：関交研 YouTube チャンネル）

【成果】

○「第11回バリアフリー推進勉強会 in 関西」

- ・テーマ：難病当事者が語る日常生活と移動
～交通機関利用時に困っていることと、求められる支援・配慮について～
- ・配信期間：令和2年10月30日（金）～11月5日（木）
- ・収録場所：大阪キャッスルホテル
- ・講演：「難病・慢性疾患患者の社会参加を求めて」
（講師）尾下 葉子 氏（NPO 法人 線維筋痛症友の会 副理事長）
「何とかなるさ～家族とともに生きる幸せ」
（講師）滝谷 香 氏（近畿つぼみの会 会員）
「造る目線から利用する側での色んなバリアフリー」
（講師）鈴木 繁 氏（大阪MS/NMO コムラード 代表）
- ・パネルディスカッション：
（コーディネーター）三星 昭宏 氏（近畿大学名誉教授）
（モデレーター）吉田 哲朗氏（(公財)交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部長）
（パネリスト）尾下 葉子 氏、滝谷 香 氏、鈴木 繁 氏
- ・視聴回数：173回（申込者数：124名）

○「第12回バリアフリー推進勉強会 in 関西」

- ・テーマ：移動等円滑化促進方針（マスタープラン）及び基本構想の策定の取り組みについて
- ・配信期間：令和3年3月1日（月）～3月15日（月）
- ・収録場所：大阪キャッスルホテル
- ・プレゼンテーション：三星 昭宏 氏（近畿大学名誉教授）
- ・事例発表：西山 暢計 氏（兵庫県明石市政策局SDGs推進室課長）
中村 信恵 氏（奈良県奈良市福祉部福祉政策課）
夏木 敏宏 氏（大阪府池田市都市整備部交通道路課課長）
藤村 安則 氏（奈良県上牧町 NPO 法人楽しいまちづくりの会副理事長兼事務局長）
- ・パネルディスカッション：
（コーディネーター）新田 保次 氏（大阪大学名誉教授）
（指定討論者）尾上 浩二氏（DPI（障害者インターナショナル）日本会議 副議長）
（パネリスト）西山 暢計 氏、中村 信恵 氏、夏木 敏宏 氏、藤村 安則 氏
- ・視聴回数：430回（申込者数：285名）



（録画風景）

(7) 第14回自動車事故防止セミナー

【事業内容】

本セミナーについては、事業用自動車の事故防止対策の一環として、平成19年度より毎年開催しているところである。

今年度についても、令和3年（2021年）1月21日に「安全・安心の事業のために」をテーマに開催を計画し準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言の期間中であったことから、開催を中止することとした。

(8) 運輸安全マネジメントシンポジウム2021

【事業内容】

平成18年（2006年）より開始された「運輸安全マネジメント」の一層の普及・浸透・定着を図り、基本的考え方や最近の情勢情報を提供するとともに、より多くの道路運送事業者の安全度の向上に資することを目的に、毎年シンポジウムを開催している。

今年度は、頻発化・激甚化が顕著な「自然災害」への対応について、「安全管理体制の構築・改善に向けた更なる取組～失敗から生まれた成功事例～」と題して、運輸事業の根幹である「安全・安心」の更なる向上に向けて、より一層促進するために行うべき方策を考えることを目的に開催した。

なお、新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言の期間中であったことから、オンライン配信（録画）として開催した。

【成 果】

- ・配信期間：令和3年2月26日（金）～3月31日（水）
- ・配信方法：近畿運輸局公式YouTubeチャンネル、関交研YouTubeチャンネル
- ・収録場所：大阪キャッスルホテル
- ・内 容：
 - 第I部 基調講演
 - ・テーマ：「運輸安全マネジメントにおけるリスク管理（自然災害）への対応について」
 - （講師）：木下 典男 氏（国土交通省大臣官房 運輸安全監理官付 次席運輸安全調査官）
 - 第II部 取組事例発表
 - （発表事業者）京阪京都交通株式会社 代表取締役社長 阪本 和宏 氏
 - 運輸部運輸課係長 西村 学 氏
 - 株式会社東伸産業 常務取締役 吉岡 聡 氏
 - 営業部長 山田 隆一 氏
 - （アドバイザー）木下 典男 氏（国土交通省大臣官房 運輸安全監理官付 次席運輸安全調査官）
 - 大江 和弘 氏（近畿運輸局大阪運輸支局 首席運輸企画専門官）
- ・視聴回数：749回



（録画風景）

(9) 事業用自動車の運転者の安全・安心・健康維持促進体操普及事業

【事業内容】

事業用自動車の使命は輸送の安全を確保することであるが、近年は高齢化が進む運転者の健康状態に起因する交通事故が年々増加している。その原因としては、居眠り運転や、疲労・過労による集中力の欠如などさまざまである。

そこで、昨年度は事業用自動車の運転者の安全・安心の向上並びに健康の維持・増進を寄与することを目的に、バス・タクシー・トラックの職種ごとの勤務形態の特徴等を考慮し「健康維持促進体操」を策定した。

今年度は、昨年度策定した健康維持促進体操の具現化（映像化等）及び展開方法の検討を行った。

【成 果】

① 委員会の開催

○第1回委員会

- ・開催日：令和2年9月7日（月）
- ・場 所：ホテルプリムローズ大阪 鳳凰の間（西）
- ・議 題：事業計画（案）、体操のネーミングの公募、ロゴマークの制作 等

○第2回委員会（書面審議）

- ・開催日：令和2年10月6日（火）
- ・議 題：健康維持促進体操のネーミングの審査

○第3回委員会（オンライン会議）

- ・開催日：令和3年1月28日（木）
- ・議 題：体操のロゴマークの選考、体操の撮影、教本の製作 等

② 分科会の開催

健康維持促進体操の振付や音楽の検討するために、専門家（理学療法士等）を委員に加えた分科会を3回、ワーキンググループを5回開催し検討を行った。

④ 体操の体験会の実施

策定した体操について、理学療法士の先生の指導のもと実際に運転者に体験してもらい感想等を聞くために、各モード（バス・タクシー・トラック）の1事業者を訪問し体験会を実施した。



（体操体験会）

⑤ 体操のネーミングの決定

委員会の委員の関係者等に体操のネーミングを募集したところ、37件の応募があり委員会の審査を経て決定した。

＜ネーミング＞「プロドライバーのためのHAKI! HAKI! 体操
～H 疲労回復 A 安全・安心 K 健康促進 I いつでも」

⑥ 体操ロゴマークの制作

産学連携プロジェクトとして、「OCA大阪デザイン&ITテクノロジー専門学校」と覚書を締結し、体操のネーミングのロゴマークの制作協力を依頼した。当専門学校の学生が考案したロゴマーク10件の提出があり、委員会の審査を経て決定した。



（体操ロゴマーク）

⑦ その他

体操の映像（DVD）化及び解説書の製作は次年度に実施することとなった。

2. 交通経済に関する講演会等の開催

(1) 第16回サロンセミナー

- ・テーマ：運輸業界・観光業界の現状と今後の展望について
- ・講師：野澤 和行 氏（国土交通省近畿運輸局長）

①オンライン配信（録画）

- ・配信期間：令和2年12月4日（金）～12月11日（金）
- ・配信方法：関交研 YouTube チャンネル
- ・視聴回数：120回（申込者数：115名）

②会場

- ・日時：令和2年11月27日（金） 15:30～17:00
- ・場所：大阪キャッスルホテル 鳳凰・白鳥・千鳥の間
- ・参加者：40名



・開催主旨

新型コロナウイルス感染症の影響により、東京オリンピックが延期になるなど、日本経済は大きな打撃を受けており、観光業界においては『訪日外国人旅行客2020年4,000万人』の政府目標が、前年同月比が4月以降99%減と非常に厳しい状況のため、ホテル、旅館等の利用も低迷している。

また、運輸業界においても、企業のテレワーク推進やワーケーションの導入、マイカー通勤の推奨、大学をはじめとした学校でのオンライン授業の実施などにより、通勤・通学需要の一部が依然として戻らない状況にあり、会議においてもこれまでの出張形式であったものからオンライン会議に切り替えられ、鉄道やバス利用等が減少したままの状況が継続している。

このアフターコロナ（ウイズコロナ）と言われる時代に、元気な関西を取り戻すためには運輸や観光の果たすべき役割は重要であると考えており、そこで今回のサロンセミナーでは、運輸業の経営支援や Go To トラベル事業等を推進している近畿運輸局の野澤和行局長をお迎えし、運輸業界・観光業界の今後の展望等についてご講演をいただいた。

(2) 第9回災害対策シンポジウム

- ・配信期間：令和3年3月5日（金）～3月19日（金）
- ・配信方法：オンライン配信（録画）＜関交研 YouTube チャンネル＞
- ・講演：「鉄道防災の過去を振り返りこれからの防災システムを考える」
（講師）杉山 友康 氏（京都大学大学院 工学研究科 特定教授）
「Osaka Metro の防災に関する取組み」
（講師）大西 誠 氏（大阪市高速電気軌道株式会社 安全監理本部
安全監理部長兼鉄道事業本部安全推進部長）

- ・視聴回数：420回（申込者数：240名）

・開催主旨

昨今頻発する自然災害。近年は地球温暖化の影響等もあり、関西各地でも大型台風や集中豪雨等により甚大な被害が多発しています。今後想定される大規模自然災害からの被災を最小限に抑える防災・減災対策を中心に現状の危機対策と今後の課題など、広く認識、共有することを目的に開催した。

(3) かんこうけんコロキウム

【第38回】

- ・日 時 : 令和2年9月17日(木) 17:00~18:30
- ・場 所 : ホテルプリムローズ大阪 高砂の間
- ・テーマ : タクシー事業の現状と今後
- ・講 師 : 末満 章悟 氏 (近畿運輸局自動車交通部長)
- ・参加者 : 26名



(第38回コロキウム)

【第39回】※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

- ・日 時 : 令和2年12月4日(金) 17:00~18:30
- ・場 所 : ホテルプリムローズ大阪 羽衣の間
- ・テーマ : 我が国の海を守る海上保安庁の今
- ・講 師 : 鈴木 史朗 氏 (海上保安庁第五管区海上保安本部長)

【第40回】

- ・配信期間 : 令和3年3月23日(火) ~ 3月30日(火)
- ・配信方法 : オンライン配信(録画) < 関交研 YouTube チャンネル >
- ・テーマ : 懸賞論文受賞(優秀賞)者のプレゼンテーション
- ・視聴者数 : 60名

3. 懸賞論文(提案・提言)の募集事業

次世代を担う方々の叡智を通じて当センターの調査研究における新たな切り口を発掘し、近畿圏における運輸交通・観光事業の一層の発展と地域社会の活性化に寄与すべく、平成20年(2008年)度から懸賞論文事業を実施している。

今年度は過去最高の21編の応募があり、優秀賞2編、奨励賞3編を選定した。

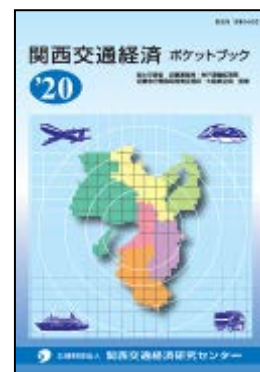
- 優秀賞 : 「巨大地震発生時の新幹線の安全性と避難誘導の課題」
井原 涼太 氏・尾原 柊 氏 (関西大学 社会安全学部)
「航空券予約データを用いた訪日外国人旅行者の航空券購買行動分析」
小松原 早貴 氏 (日本政府観光局 (JNTO))
- 奨励賞 : 「高速バス乗り場の改善に関する提案~大阪駅周辺を事例に~」
田中 智也 氏 (関西大学 社会安全学部)
「地域鉄道における若年層の観光利用促進の必要性とその方策の提案
~京都丹後鉄道を事例として~」
郡司 智行 氏・松本 青海 氏・中西 圭祐 氏・村上 絵里南 氏・畔津 美咲 氏
(中央大学 経済学部)
「並行在来線鉄道の在り方~福井県運輸連合結成の提案~」
中川 紗綾 氏 (立命館大学 政策科学部)

※ なお、表彰式については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としたが、入選論文のプレゼンテーションは、オンライン配信(録画)方式で「第40回かんこうけんコロキウム」として開催した。

4. 文献その他出版物の刊行

(1) 「関西交通経済ポケットブック」の刊行

「関西交通経済ポケットブック 2020年版」を刊行し、賛助会員、関係機関及び研究機関に配布したほか、一般に広く頒布した。



(2) 機関誌「関交研」の発行

2020年春季号（140号）及び秋季号（141号）を発行し、賛助会員等に配付した。

【主な掲載内容】

○2020年春季号（140号）

- ・令和元年度 第15回サロンセミナー
「2025年に向けて思うこと」
- ・第35回 かんこうけんコロキウム
「Ma a Sの取り組みについて」
- ・第36回 かんこうけんコロキウム
「インバウンドの風をオール関西で」

- ・令和元年度 かんこうけん懸賞論文

○2020年秋季号（141号）

- ・所感（近畿運輸局長、神戸運輸監理部長）
- ・第38回 かんこうけんコロキウム
「タクシー事業の現状と今後」
- ・交通サポートマネージャー研修
- ・エッセイ
「かんこうけんのwith コロナと閑話・休題」



5. その他

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当することがないので、事業報告の附属明細書は作成しない。



(関交研 YouTube チャンネル)

(参 考)

令和2年(2020年)度調査研究事業一覧表

(P. 2~8関連)

番号	事業名	受託先
1	TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進	(一財)近畿陸運協会
2	公共交通機関のコロナ感染防止対策セミナー	(一財)近畿陸運協会
		近畿バス団体協議会
		近畿ハイヤー・タクシー協議会
		全国個人タクシー協会近畿支部
		近畿旅客船協会
	関西鉄道協会	
3	交通事業者向けバリアフリー教育訓練(BEST研修)	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
4	兵庫県トラック協会環境対策等事業及び広報誌作成事業の実施	(一社)兵庫県トラック協会
5	手話教室	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
6	バリアフリー推進勉強会	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
7	第14回自動車事故防止セミナー	(一財)近畿陸運協会
8	運輸安全マネジメントシンポジウム2021	(一財)近畿陸運協会
9	事業用自動車の運転者の健康維持促進体操普及事業	(株)キリック

Ⅲ. 庶務事項

1. 会議等

A. 理事会

(1) 第23回理事会(書面決議)

開催日 令和2年5月20日(水)

議案

- ① 令和元年度事業報告書及び決算報告書(案)の承認について
- ② 令和2年度定時評議員会の招集について

(2) 第24回理事会

開催日 令和2年6月15日(月) 17:00~17:10

開催場所 ホテルグランヴィア大阪

議案

- ① 会長、理事長及び常務理事の選定について

(2) 第25回理事会(書面決議)

開催日 令和3年2月24日(水)

議案

- ① 令和3年度事業計画(案)の承認について
- ② 令和3年度収支予算(案)の承認について
- ③ 令和2年度定時評議員会の招集について

B. 評議員会

(1) 第18回評議員会

開催日 令和2年6月15日(月) 16:00~17:00

開催場所 ホテルグランヴィア大阪

議案

- ① 令和元年度決算報告書(案)について
- ② 任期満了に伴う理事・監事の選任について
- ③ 任期満了に伴う評議員の選任について

(2) 第19回評議員会

開催日 令和3年3月8日(火) 11:30~12:00

議案

- ① 令和3年度事業計画(案)について
- ② 令和3年度収支予算(案)について

C. 役員等名簿 (令和3年3月31日現在)

(1) 役員

会長	尾崎	裕	大阪ガス(株) 取締役相談役
理事長	岩崎	勉	元 国土交通省 大臣官房総括審議官
常務理事	福元	稔	(公財)関西交通経済研究センター 事務局長
理事	荒木	律也	(一社)京都府トラック協会 会長
〃	池田	誠	日本通運(株) 専務執行役員関西ブロック地域総括兼大阪支店長
〃	小谷	通泰	神戸大学 名誉教授
〃	加藤	琢二	加藤汽船(株) 代表取締役会長
〃	塩川	耕士	(一社)大阪バス協会 会長
〃	和田	林道宜	近畿日本鉄道(株) 代表取締役会長
監事	岡田	信	阪神バス(株) 代表取締役会長
〃	西願	廣行	近畿冷蔵倉庫協議会 会長
顧問	野村	明雄	大阪ガス(株) 特別顧問

(2) 評議員

評議員	阿部	哲夫	(株)名門大洋フェリー 代表取締役会長
〃	倉坂	昇治	西日本旅客鉄道(株) 取締役兼専務執行役員 総合企画本部長
〃	阪田	茂	南海フェリー(株) 代表取締役社長
〃	清水	雅範	(一財)神戸観光局 専務理事
〃	辻	卓史	(一社)大阪府トラック協会 会長
〃	長尾	真	(公社)兵庫県バス協会 会長
〃	野村	欣史	阪急電鉄(株) 専務取締役都市交通事業本部長
〃	橋本	一孝	(株)辰巳商会 専務取締役
〃	松川	隆男	(一財)近畿陸運協会 理事長

2. 賛助会員 (令和3年3月31日現在)

法人会員数・口数	90 法人	1,007 口
個人会員数・口数	12 名	16 口

3. 事務局

(1) 事務所

大阪市西区西本町1丁目7番2号 (ウエスト・スクエアビル 9F)
電話 (06)6543-6291 FAX (06)6543-6295
ホームページ <http://www.kankouken.org>

(2) 役職員 (令和3年3月31日現在)

役員	3名	(会長(非常勤)、理事長(非常勤)、常務理事)
事務局長	1名	(常務理事、総務部長兼務)
総務部	1名	(係長)
業務部	2名	(課長、研究員)